

市の施策を様々な観点から審査

根室市議会 令和4年度決算委員会(一般会計)

9月26、29日の日程で、根室市議会は一般会計の決算審査特別委員会を開催しました。橋本が行った約30項目の質疑のうち、今回は紙面の都合で3項目だけ紹介いたします。

高齢者や障害者等へ、新たな投票の支援策を検討してほしい

根室市内の投票所は現在27か所ですが、今後も旧花咲小学校の解体により、代替施設や周辺の投票所への統廃合が検討されています。投票所が遠くなることで当日の投票に不便になることが心配されます。各自自治体では高齢者や障害者等も投票しやすい環境整備のために、「移動投票所」やタクシー等を活用した有権者の「移動支援」などの取り組みが進められています。

これらについて市選管は投票所閉鎖の代替手段が無い場合は「選挙の平等公平性を損なう恐れがある」と慎重な姿勢です。ただ、ほぼ寝たきりの方を対象にする「郵便投票」の基準までは該当しないが、高齢者や障害者などで投票所に足を運べない方への「投票の支援について、選管としても協議検討しなければならぬ」と感じている」とも答弁されました。

「花咲港金刀比羅神社例大祭」に初めて参加

10月8日、須崎和貴議員に誘われて、橋本は鈴木一彦議員と一緒に警備の担当で山車の後ろを付いて歩きました。久保田陽議員と中村久議員も補給車の担当で参加しました。

コロナ禍で4年ぶりの開催です。人手不足など大変な課題を抱えながらも、子どもからベテランの方まで皆さん一緒に祭りを盛り上げ、地域の伝統行事を守り続けている様子に感銘をうけました。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



「妊婦健診」の受診を経済的な理由から控えてしまう方も

当初予算対比で妊婦健診の一人当たりの実施件数が減少しています。その理由の一つとして、経済的な理由から受診をためらう方もいるそうです。例えば市立根室病院では、全て受診した場合は約3万円程度の自己負担が発生します。市の保健師による相談等ではこの自己負担のために健診を控えるケースもあるという話でした。これについて市担当課は「なんとか解消できないか検討している最中だ」と説明していました。



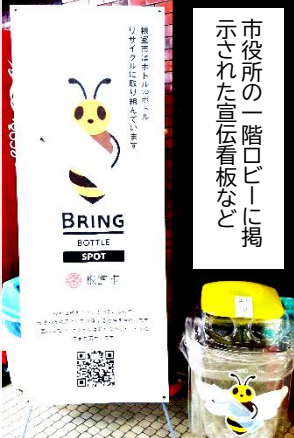
インクルーシブ遊具の整備について

近年、障害のある子も無い子も一緒に遊べる「インクルーシブ遊具」への注目が高まっています。根室市における今後の公園遊具の整備について担当課は「道内ではまだ少ないが、導入事例を参考に、どのような遊具が全ての人に分け隔て無く利用されるのか検討しながら、今後の設置について考えている」と説明していました。

ペットボトルが次のペットボトルへ 新たなリサイクルの取り組み 根室市

今年4月から根室市ではペットボトルのリサイクルを進める、新たな取り組みを行っています。
従来のリサイクルは回収したペットボトルは、主に卵パックなどのプラスチック製品の材料になっていました。こうした中、根室市は今年3月に浜中町、標茶町、鶴居村と共に、(株)JEP L A Nと地域循環共生圏推進に関する包括連携協定を締結しました。
難しいことはよく分かりませんが、(株)JEP L A Nの資料によると、ケミカルリサイクルという技術で回収したペットボトルを分解、不純物を除去した後、ペットボトルの材料になるPET樹脂を製造しているそうです。
つまり、リサイクル回収したペットボトルを新たなペットボトルとして製造できる企業、と言うことのようにです。

またペットボトルを焼却して、石油由来の原料から新たに製造する手法に比べCO2排出量を約47%も削減できるとしています。同社は釧路市をはじめ全国27市区町村と連携してこのリサイクルを進めており、また同社の包括連携協定では「市民への環境教育や啓発活動」についても連携した取り組みを進めていくとされています。



春国岱 外来種オニハマダイコンの勢力がすごい! また、北海道は安全な木道整備に十分な予算措置を

9月24日、今年も根室ワイズユースの会による春国岱一斉清掃活動が行われました。コロナ禍で参加を会員家族等に限定していましたが、今年から以前のように広く一般市民にも参加を呼びかけ、事務局含め全体で26名の方々が参加されました。
大量のヤブ蚊に刺されながら一時間の活動で、浜辺のゴミと外来種のオニハマダイコン等の駆除分をあわせて440kgを集めました。
特にオニハマダイコンの繁殖がすごい!とてもじゃないが少しの駆除では追いつかないと思えました。
後でネット検索したら、春国岱では2014年からオニハマダイコンの除去作業を継続して行っているそうです。
皆さんの継続した努力には本当に頭が下がります。



オニハマダイコンについて解説する根室ネイチャーセンターの掛下チーフレンジャーさん

確かに自然の厳しい場所に設置された木道なので痛みが激しく、補修の予算も莫大となってしまうのですが、今後、国定公園の指定候補地になることが予想されている地域です。北海道にはぜひしっかりとした対応予算付けをお願いしたいです。
開通後、今回はじめて春国岱に行ったのですが、確かに一部は補修されて綺麗になっているのですが、補修されていない、その他の部分の損傷が激しい状況です。
ところで、春国岱の駐車場から木橋付近までの木道は北海道が管理する部分ですが、破損のため長い間、通行止めになっていました。その後、工事が完了したとして、今年8月のお盆シーズンを前に開通された聞いています。

改修工事後に再開した木道だが破損した箇所が目立つ

